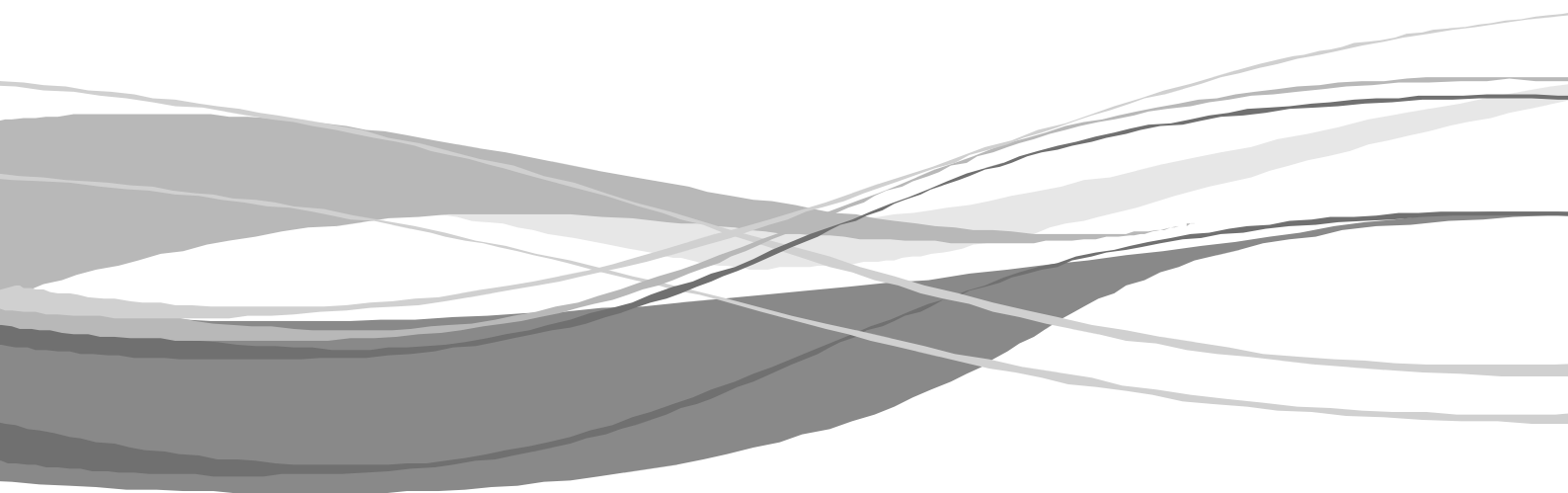


第 3 章 基本理念・基本目標



第3章 基本理念・基本目標

1 基本理念

地域福祉の推進において、行政や社会福祉協議会だけでなく、市民の福祉への参加・協力のもと、それぞれが役割を果たしながら、助け合い・支えあっていくことが必要です。

今回の計画では、地域福祉を推進する上で、“市内に住むすべての人たちが安心して暮らしていけるよう、ふれあいを大切にする”ことを念頭に、第1次計画となる「牧之原市地域福祉計画」及び「牧之原市地域福祉活動計画」が掲げる基本理念を引き継ぐものとします。



2 基本目標

基本理念を踏まえ、第1次計画では3つの基本目標を設定し、地域福祉の推進に努めてきました。しかし、課題は現在も多く残っており、市民が安心して暮らすことのできるまちづくりに向けて、引き続き取り組んでいくことが求められます。そのため、地域福祉計画と地域福祉活動計画の一体化を図り、第1次計画の方向性を継承しながら、より一層の地域の福祉を進めていきます。

基本目標Ⅰ 安心して暮らすことができるまちづくり

少子高齢化の進行に伴い、地域で支援を必要とする人が増えてきています。また、価値観の変化やライフスタイルの多様化も進み、地域の福祉課題は複雑化し、解決にあたっては多種多様な支援が必要となっています。そのため、公的な福祉サービスのみでは対応が難しく、地域活動やボランティアなどの支援が重要となっています。

また、東日本大震災以降、市民の災害に対する意識が高まっており、地域での防災・減災対策が重要となっています。いつまでも住み慣れた地域で、安心して生活が送れるよう、日常生活における支援や災害などの緊急時における支援が行えるよう、各種関係機関との連携を取りながら、適切な支援を効果的に提供できる体制の構築が必要となります。

そのほか、新たな地域活動の担い手の確保に努めながら、支える側となる既存の団体や組織などの存続や体制の強化に取り組みます。

基本目標Ⅱ 活動の輪を広げるまちづくり

地域の福祉活動を盛んなものにするためには、より多くの市民の参加が必要です。そのためにも、市民一人一人が地域に関心を持ち、主体的な活動への参加につながるよう、困った時には互いに助け合い、支えあうことの重要性について、意識の統一を図ることが大切です。

また、幼い頃から思いやりの心を育むための福祉教育に取り組み、世代を越えた交流や身近な地域でのつながりを持ち、助け合いや支えあいのまちづくりが求められます。

そのほか、ボランティア活動等の情報提供に努め、活動への理解の普及と参加者の確保が必要です。

まちの賑わいでもある地域活動をより活発なものにしていくため、地域の各種組織団体とボランティアの連携強化をはじめ、活動内容の見直しや検討、活動拠点の確保などを図り、さらなる地域活動の活性化を目指します。

基本目標Ⅲ 助け合い・支えあいの仕組みづくり

地域を取り巻く社会環境は、核家族化の進行などもあり、関係の希薄化が問題となっています。なかでも、高齢者の社会的孤立は生きがいの喪失や生活不安にもつながり、地域での助け合いや支えあいが重要となってきます。

また、高齢者を狙った犯罪や経済情勢、雇用問題による生活困窮者や多問題世帯も多く、地域での見守りや専門職の連携による対応が求められています。そのため、日頃からの関係づくりや内容に応じた専門機関への情報提供、連携の強化を目指します。

3 計画の体系

計画	基本理念	基本目標	重点目標
第1次牧之原市地域福祉計画	ふれあいを大切にしたい 生涯安心して暮らすことのできるまちづくり	安心して暮らすことができるまちづくり	<ol style="list-style-type: none"> 1 相談窓口体制の整備 2 情報提供の充実 3 福祉の担い手の育成 4 福祉サービスの質の向上 5 生活環境の整備充実 6 災害時要援護者対策の推進
		活動の輪を広げるまちづくり	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域福祉活動の推進 2 ボランティア活動等市民活動の推進 3 地域資源の利用の推進
		助け合い・支えあいの仕組みづくり	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民福祉活動ネットワークの形成 2 福祉の協働と連携の推進 3 社会福祉協議会の組織・活動の基盤強化
第1次牧之原市地域福祉活動計画	ふれあいを大切にしたい 生涯安心して暮らすことのできるまちをつくらう	安心して暮らせる未来のまちをつくらう	<ol style="list-style-type: none"> 1 相談事業の充実 2 情報提供の充実 3 人権対策の充実 4 福祉サービスの充実 5 介護サービスの充実 6 災害時要援護活動の充実 7 子育て支援の充実
		共に助け合う地域をつくらう	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域福祉活動の支援 2 ボランティア活動等市民活動の推進
		地域福祉を支える担い手をつくらう	<ol style="list-style-type: none"> 1 ボランティア拠点機能の充実と仕組みづくり 2 ボランティアの育成と人材の確保 3 災害ボランティアの育成 4 福祉教育の充実
		ふくしのまちの基盤をつくらう	<ol style="list-style-type: none"> 1 計画を実施するための財源の確保 2 社会福祉協議会の組織の充実 3 人材の育成と確保 4 ネットワークの形成と充実

計画

第2次牧之原市地域福祉計画・地域福祉活動計画

基本理念

ふれあいを大切にした
生涯安心して暮らすことのできるまちづくり

基本目標

I

安心して暮らすことができるまちづくり

- 1 相談窓口の充実
- 2 災害時要援護者(避難行動要支援者)対策の充実
- 3 福祉の担い手の確保・活動の充実
- 4 各種福祉サービスの利用支援
- 5 情報提供の充実
- 6 生活環境の整備の充実
- 7 次世代への支援の充実

地域福祉施策

II

活動の輪を広げるまちづくり

- 1 地域や学校における福祉教育の推進
- 2 ボランティア・地域活動等の参加促進
- 3 地域資源の確保・活動推進

III

助け合い・支えあいの仕組みづくり

- 1 市民参加型の小地域福祉活動の推進・支援
- 2 生活困窮世帯等への支援ネットワーク体制の強化
- 3 地域包括ケアシステムの推進と福祉の連携と協働の強化
- 4 社会福祉協議会への活動支援・組織強化

